

活動紹介：こころの悩みを抱えるママたちが相談できる仕組みづくり～
母性看護 CNS を活用した看護外来～

NTT 東日本関東病院 <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>
母性看護専門看護師 長坂桂子(ながさか けいこ),PhD

「産後のイメージはどうですか?」と妊婦さんやパートナーに質問すると、最近は大半の方が、「大変そう・・・」と答えます。メディアでも、妊産婦の死亡の第1位が自殺という悲しい調査結果が報道され、産後うつ、産後疲労、孤育てなどについて心配されている方が増えてきています。



ママたちのこころのために

メンタルに不調を抱える母児のケアの際には、院内外の多岐にわたる職種や部門との連携、家族支援調整、スタッフからの相談など、高度な実践力が必要で、母性看護 CNS がケアを担当することが多々あります。しかし、この活動は黒子的で見えにくく、妊産婦さんが CNS のケアを選べる形にはなっていません。もっと妊産婦さんが利用しやすい形にできないか。全国に散らばっている CNS が顔の見える形でつながりながら、母性看護 CNS を活用した周産期メンタルヘルス看護外来をつくる仕組みづくりができないか。そう考えたメンバー5名とともに、研修会企画に奮闘中です！（平成 30 年度公益信託 中西睦子看護学先端的研究基金 獲得「周産期メンタルヘルス高度看護実践を強化する看護プログラムの検証」）

< CNS の調整・教育機能 >